

サーキット・ライダー 2007年 7、8月号

祈り、備える

・・・イエスのうわさはますます広まったので、大勢の群集が、教えを聞いたり病気をいやしていただいたりするために、集まってきた。だが、イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。

ルカ 5：15-16.

この7月でパークリッジ合同メソジスト教会に派遣され13年目に入りました。赴任したての頃はアメリカ人の教会で毎週英語で説教を取り次ぎ、結婚式も葬儀も、中高生会も婦人会での話もみな英語であるということに不安を感じ、恐れおののき、日々備えられるよう祈り努めていましたが、いつの間にか12年という歳月が経っていました。今でも英語で説教や聖書研究会をしたり、諸々のプログラムをするのは得意とは言えませんが、心優しい教会員に恵まれ、励まされ、一つ一つこなしているといった感じです。今はただただ彼らへの感謝で一杯です。

12という数字は聖書数字学ではイスラエルの部族数、イエスの弟子の数などを指すことから特別な数で、3や7とは違った意味で完全数と考えられています。12弟子の選びはイスラエル全部族の救いを意味し、延いては世界の救いを意味します。中国や日本でも十二支で一区切りを付けます。その意味ではパークリッジで12年の牧会を終えたという事は一つの区切りになります。しかし、今の私の胸にある思いは、このままではアメリカ人の教会はいずれ立ち行かなくなるという危機感です。教会内で何か騒動があったとか、分裂したとか、そういうことは全く無かったのですが、加速する教会員の高齢化と遅々としてはかどらない世代交代がその原因です。高齢の教会員が御国に召されるだけでなく、ニュージャージー、ニューヨークの物価、土地税の急激な上昇も社会保障など限られた収入しかない高齢者を圧迫し、税金の安い他州の高齢者住宅や老人ホームに移り住むという現象に拍車をかけています。「このままではいけない。何かしなければ。」と思い、一昨年からはハンドベル聖歌隊を、昨年からは英語の聖研を毎週火曜日に始め、少しでも若い人が礼拝に参加するように中高生会も日曜日の礼拝前にしました。ハンドベルや聖研は徐々にではありますが外からの参加者もあり実りつつあります。

しかしまだまだ礼拝やプログラムが充実しているとは言えません。肝心の教会員の多くが新しい人が来ても、自分達の和の中に迎えようという気構えができていません。アメリカでは小さな教会をファミリー・チャーチと呼びますが、ファミリー・チャーチは長年集ってきた地元の人が主な構成会員で、皆が全員の家族親戚まで知っているほど親しくしています。その意味では教会は正に「主にある家族」で強い絆で結ばれています。でも、一方では新しくきた人を受け入れないという一面があります。パークリッジは白人中心の教会ですが、ここ数年アフリカから来た家族や、日本語よりも英語礼拝に出たいという日本人、また韓国家族などが礼拝に来るようになりましたが、白人教会員の中には3年経っても彼らの名前をちゃんと覚えていない人が幾人もいます。せっかく教会に来て「自分は受け入れられていない。」と思えば、足は遠のいてしまいます。「開かれた教会」また誰もが「また来たいと思う教会」にならなければ、このまま高齢化しいつかは教会を閉じることになります。そこで9月からの新しいシーズンから教会員全員が名札を付け、皆が名前を覚えることを手始めに、働いている人たちの為の週日夜の礼拝、聖書勉強会を、アメリカ人の協力の下、文化教室、英語教室、アメリカ伝統的料理教室を、またアメリカ人向けの日本語、韓国語講座、アート・クラス等を今計画しています。あくまでメインは伝道ですが、パウロが1コリント9：19-23、で言ったようにユダヤ人にはユダヤ人のように、律法に支配されている人には、律法に支配されているように、弱い人には弱い人のように{日本人には日本人のように、IT思考の人にはIT思考で}少しでも人が教会に来てくれるような伝道プログラムをしなければという思いになりました。遣わされているアメリカ人の教会が小さくなり無くなってしまっただけでは日本語ミニストリーも儘なりません。その意味では今まで以上にアメリカ人教会にお仕えしなければならないと思っています。

イエス様は宣教の合間に祈るため、また伝道に備えられるため弟子たちや人々から離れて休息の時、満たしの時を持ちました。私たちも日頃の忙しさからしばし離れ、霊的にも肉体的にもリフレッシュする時が必要です。私もこの夏、これから日本語ミニストリーのあり方も含め、13年目に入るパークリッジでの牧会、宣教、教会の将来と成長を見つめ、また自分自身の召命、将来を、祈り、熟考してみたいと思っています。皆様も良い夏を静養の時をお過ごし下さい。

吉松 純

礼拝は日曜日午後4時です。J r . 教会（日曜学校）は7、8月は夏休みです。

7月 1日：礼拝：聖餐式

8日：礼拝

15日：礼拝

22日：礼拝

29日：礼拝

8月の日本語礼拝は下記のように隔週になります。ご了承下さい。またどうぞ積極的に英語礼拝にご出席下さい。

8月 5日：アメリカ人と合同礼拝、聖餐式。午前10時。キャンプ、スタート。日本語礼拝お休み

12日：礼拝、午後4時

19日：アメリカ人の合同礼拝、午前10時。日本語礼拝お休み

26日：礼拝、午後4時

9月 2日：アメリカ人と合同礼拝、聖餐式。午前10時、組合派教会にて。日本語礼拝お休み

行事予定と報告

*夏の間、第一日曜日は組合派教会と合同メソジスト教会とが教派を超えて合同礼拝、聖餐式（英語）を持ちます。礼拝は午前10時からです。日本語ミニストリーもこの合同礼拝に参加します。皆様、どうぞお出かけ下さい。

*洗礼準備聖書勉強会：毎週日曜日礼拝前の午後3時より。洗礼を受ける決心をしたかた、またまだ迷っている方、何も分からない方、皆歓迎します。

お知らせ：

*8月5日（日）から11日（土）までSMJ、ユニオン教会と協賛でサマーキャンプがあります。子供たちの伝道の為、安全の為お祈り下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。

*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

*パターソンのSt. Philip 伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 pastor@umc-japan.org 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org>